



## 特 禱

司式者 <sup>しゅ みな</sup> 主は皆さんとともに  
会衆 **また、あなたとともに**  
司式者 <sup>いの</sup> 祈りましょう

ここで当日の特禱を用いる。

## ともに聞く

司式者 <sup>せいしょ</sup> <sup>ことば き</sup> 聖書のみ言葉を聞きましょう  
会衆は着席する。

### 〈第1朗読〉

朗読の前に「第 1 の朗読は 一 書第 一 章 一 節から」と言い、朗読後、「第 1 の朗読を終わります」と言う。

### 〈詩編〉

第 1 朗読に引き続いて定められた詩編を聖歌隊が歌う。栄光の歌は用いない。

### 〈第2朗読〉

朗読の前後は、第 1 朗読にならう。  
次に一同立つ。ここで聖歌を用いてもよい。

### 〈福音書〉

朗読者または司式者は福音書を朗読する。朗読の前に「一による福音書第一章一節から」と言い、朗読後、「一による福音書を終わります」と言う。

朗読者が聖職の場合には、以下の福音書朗読前後の唱和(祈禱書 166 ページ)を用いることができる。

朗読者 <sup>しゅ みな</sup> 主は皆さんとともに  
会衆 **また、あなたとともに**  
朗読者 <sup>せい</sup> 一 <sup>ふくいんしょだい</sup> による福音書第 <sup>しよ</sup> 一 <sup>せつ い か しる</sup> 章 一 <sup>しゅ えいこう</sup> 節以下に記された  
<sup>しゅ</sup> 主イエス・キリストの福音。主 <sup>しゅ</sup> に栄光  
会衆 <sup>しゅ えいこう</sup> 主に栄光がありますように

福音書の朗読が終わったとき次のように歌いまたは唱える。

朗読者 <sup>しゅ かんしや</sup> 主に感謝  
会衆 <sup>しゅ かんしや</sup> 主に感謝します

## 説 教

## 使徒信経

一同立つ。

わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。  
また、その独り子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリヤから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみがえり、天に昇られました。そして全能の父である神の右に座しておられます。そこから主は生きている人と死んだ人とを審くために来られます。  
また、聖霊を信じます。聖なる公会、聖徒の交わり、罪の赦し、体のよみがえり、永遠の命を信じます アーメン

## 平和の挨拶

司式者 キリストはわたしたちの平和です  
会衆 わたしたちは主のみ名によって出会い、主の平和を分かち合います  
司式者 平和の挨拶を交わしましょう  
ここで、互いに「主の平和」と唱えて挨拶を交わす。

## 献げもの

ここで次の言葉を用いてもよい。あるいは他のふさわしい言葉が聖句を用いてもよい。

司式者 主の救いのみ業に感謝し、ともに賛美を献げましょう  
あらかじめ集められた信施(献金)を献げる。このとき、音楽による賛美を献げてもよい。  
信施を献げるときは、以下の言葉を唱える。

司式者 すべてのものは主の賜物  
一同 わたしたちは主から受けて主に献げたのです アーメン

## ともに祈る

ここで司式者または会衆の代表者は、適当な言葉で代祷を献げる。(週報参照)

### 主の祈り

一同ひざまずく。

司式者 主よ、憐れみをお与えください  
会衆 キリストよ、憐れみをお与えください  
司式者 主よ、憐れみをお与えください

次に一同、主の祈りを歌いまたは唱える。

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

み心が天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をお赦ください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

悪からお救ください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。アーメン

## 感謝

司式者 ともに祈りましょう

一同 すべてのものの源である神よ、あなたは遠く離れていたわたしたちを、み子との  
出会いをとおして主の家に招いてくださいました。このあなたの愛に感謝し、み名  
をほめたたえます。あなたからいただいたみ言葉と恵みと平和を、わたしたちが  
すべての人びとと分か合うことができますように。そして聖霊の導きにより、あな  
たの光でこの世を照らす働きにあずからせてください。また与えられた希望を変  
わることなく保たせ、すべてのものがみ名をほめたたえることができますように、  
主イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

## 主とともに行く

司式者 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、わたしたちとともにありますよ  
うに。(Ⅱコリント 13:13)

会衆 アーメン

## 派遣の唱和

一同立つ。

司式者 ハレルヤ、主とともに行きましょう

会衆 ハレルヤ、主のみ名によって アーメン

ここで聖歌を用いてもよい。

司式者と奉仕者は退堂する。

短い報告、案内等の後、後奏とともに会衆は退堂する。